



12月定例会

No.176

2013年(平成25年)1月31日

ルールは守るよん

「自転車の似合うまち」を目指してP2

自転車安全利用条例を可決

常任委員会の年間活動成果

P6

とだ議会
だより

議会改革特別委員長報告	4
議会モニターからの提言	5
一般質問	10
ほっとコーナー	20

平成24年

12月
定例会

11月27日～
12月17日

「自転車の似合うまち」を目指して

自転車安全利用条例を可決



▲自転車運転免許取得講習会（笹目東小学校）

主な議案の概要

12月定例会は、11月27日から12月17日までの21日間の会期で開かれました。本定例会には31件の議案等が提案され、いずれも可決・同意・承認しました。
また、4日間にわたる一般質問では、18人の議員が活発な論戦を展開しました。委員会提出では、初日に2件、最終日に3件の議案が提案され、いずれも全員一致で可決しました。「所得税法第56条の廃止を求める請願」については、全員一致により一部採択いたしました。

【条例（委員会提出）】

◎戸田市みんなで守ろう自転車安全利用条例

議員提出あるいは委員会提出の政策的条例としては、「戸田市みんなで守ろう犯罪のないまち条例」「戸田市中小企業振興条例」に次いで3番目の条例です。

この条例は、自転車を利用する市民が増えている一方、近年、自転車事故の増加が顕著であることから、平た

んな地形で、自転車走行に適したまちである本市が、日本一安全に楽しく自転車を利用できる「自転車の似合うまち」の実現を目指すために市民生活常任委員会から提案され、全員一致で可決したものであります。

ことから、具体的な施策までは規定せず、市民、自転車利用者等の責務や基本的事項のみを規定したもので、本年1月1日から施行されています。↓年間活動成果P9参照



【条例（市長提出）】

◎戸田市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例

道路法の一部改正に伴い、市道の構造の技術的基準や道路標識の寸法、文字の大きさに係る基準が条例委任されたことから新たに条例を制定するものです。

を車道の左側に設ける）、第10条（自動車

の交通量が多い道路には「自転車歩行者道」を道路の各側に設ける）において、近々指定できそうな路線をイメージしているのか。

質 疑

◎今議会に成立した自転車安全利用条例に対応する議案である。地方分権に伴う条例化ではあっても、6点の市独自基準を設けた条例である。現状、第9条（自転車の通行により車両及び歩行者の安全、円滑な通行が妨げられないようにするため必要がある場合は「自転車通行帯」

等の一部改正

今回の組織改正は、①総務常任委員会の提案により、危機管理体制を強化するため、市長直轄の組織として部長職の危機管理監を設置する②地方公共団体を取り巻く経済環境が厳しさを増す中で、公共施設の延命化と適正管理、建てかえ等を総括する組織を財務部に新設する③現行の市民生活部から環境経済部を新たに独立設置し、環境に配慮したまちづくりの推進を進展させるためのものです。

質 疑

◎危機管理監は、どのような人材を想定しているのか。

◎職員からの登用を念頭にしており、部長級の職員とすることを想定している。役

質 疑

◎減額に至った理由は。

割としては、有事の際には、危機管理監の指揮のもと、市民の安全の確保に向けた対応をとることはもちろんのこと、災害時への備えとして、危機管理体制の強化・確立を行っていくことが必要であると考えている。

【24年度補正予算】

歳入歳出それぞれ1億6483万円を追加するものです。

戸田公園駅西口駅前通り整備事業

△電線共同溝本体の布設工事に伴い、現在、地上から民地内へ引き込まれている東京電力所有の電線類を地下経由に切り替えるための位置調整に時間を要したことから、今年度中に取り付け管路を布設することが難しくなったため減額する。平成25年度内の完成を目指している。

あけましておめでとう
ごちそうさます

平成二十五年 正月

戸田市議会 議員一同

委員会提出議案

常任委員の任期を「1年」から「2年」に

いずれも全員一致で可決し、意見書は国及び政府に提出しました。
◇戸田市みんなで守ろう自転車安全利用条例 ↓p2及びp9参照

◇ジェネリック医薬品軽減額通知の普及を求める意見書

患者負担の軽減や医療費の削減を図るため、価格が安いジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担がどのくらい軽減するかを知らせる通知の普及に積極的に取り組むことを強く要請するものです。

◇戸田市議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の一部改正により、本会議においても委員会同様、公聴会の開催や参考人招致ができることになったため、規定整備等を行うものです。

◇戸田市議会委員会条例の一部を改正する規則

例の一部を改正する条... 地方自治法の一部改正により、委員会条例において、議員は少なくとも1つの常任委員となることを規定するとともに、特別委員の在任規定などを、新たに加えるものです。
さらに、自治法改正に伴うもの以外に、常任委員会の審査及び調査研究をさらに充実させるため、常任委員の任期を1年から2年に改めるものです。
◇戸田市議員報酬及び議員の費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
常任委員会の毎月開催により大幅に増えた委員長の業務量を踏まえ、常任委員長の報酬を定めるとともに、費用弁償を半額とするものです。施行日は平成25年4月1日です。

長い間 お疲れ様でした

今議会を最後に、4名の議員が勇退を表明されました。ここに市政の発展に多大な功績を残された各氏の略歴を紹介いたします。

細井 幸雄議員



平成13年から連続3期12年間にわたり市政に貢献。その間、副議長、文教・建設常任委員長、健康福祉常任委員長、議会運営委員長を歴任。

鈴木 麗子議員



平成17年から連続2期8年間にわたり市政に貢献。その間、副議長、市民生活常任委員長を歴任。

神谷 雄三議員



昭和60年から連続7期28年間にわたり市政に貢献。その間、正副議長、監査委員、常任・特別の各委員長、戸田競艇組合議会・蕨戸田衛生センター組合議会の各議長を歴任。

中名生 隆議員



平成9年から連続4期16年間にわたり市政に貢献。その間、議長、監査委員、厚生・文教経済・指定管理者制度の各委員長、蕨戸田衛生センター組合議会議長を歴任。

議会モニターからの提言

議会モニターから提出されました提言につきまして、戸田市議会の検討結果をお知らせいたします。

Table with 2 columns: 提言等の要旨 (Summary of proposals) and 検討結果 (Review results). It contains 5 rows of information regarding various proposals from the city council monitors.

【人事案件（市長提出）】
◎人権擁護委員候補者の推薦について

- 加藤静子氏（再任）
小山陽子氏（再任）
奥住博明氏（再任）
武内利行氏（再任）
梅田雪代氏（新任）

人権擁護委員とは

国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、侵犯された場合には、その救済のため適切な処置をとるとともに、常に自由人権思想の普及・高揚に努める。

市町村長が推薦した者の中から、法務大臣が委嘱する。



費用弁償・常任委員長の報酬改定へ

議会改革特別委員長報告

「費用弁償」「常任委員長の報酬」「議会基本条例の運用体制」について、12月17日の本会議で議会改革特別委員長から報告がありました。

【費用弁償】

費用弁償は交通費等職務の執行のために要する費用であり、民間企業の交通費と同様にとらえれば必要なものであるとして、現状維持とする意見。また、費用弁償は市民の理解が難しい制度であり、支給額3千円は交通費等と考えると高いので、廃止とする意見。さらには、地方自治法を踏まえ、費用弁償はあつて当然だが、戸田市の市域を考慮すると3千円は高いので、減

【常任委員長の報酬】

常任委員会が年間活動テーマを設定して原則毎月1回の委員会開催となり、常任委員長の業務量が大幅に増えたことから議論を始めたものである。委員長

の業務が増えていることは事実であるが、議員の仕事の範囲であり、委員長の報酬を上げる必要はないという意見。また、近年の経済情勢を考慮すると、上げることに抵抗があるという意見。一方、常任委員長の業務量増加は閉会中にも及んでいて、40市中

【議会基本条例の運用体制】

条例を生きたものとするには、制定後の推進体制が最も大事なことの1つである。全議員によって部会を設けて運用していくこととし、議会基本条例推進部会の組織図を決定、改選後の議会に申し送

24年 年間活動の成果《常任委員会》

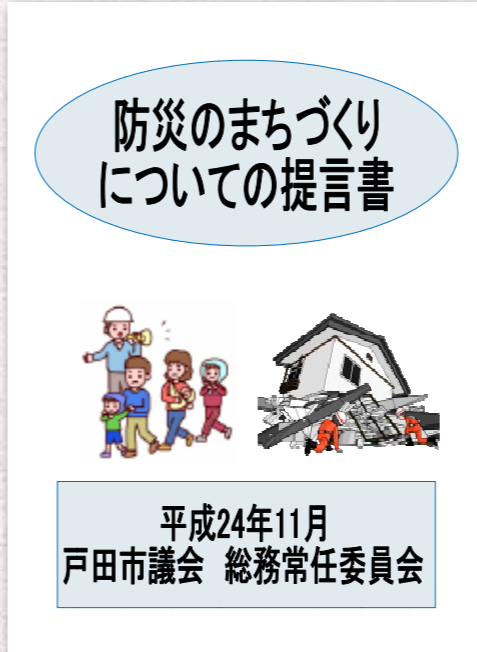
委員会は、議案や請願の審査のほか、所管の範囲で調査事件を定め、能動的に市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対し意見、政策提案をしています。

総務委員会

防災のまちづくりに向けて、施策等を提案・提言

総務常任委員会では、年間活動テーマを「防災のまちづくり」と決定し、先進自治体の防災の取り組みを調査・研究しました。そして、その結果を総合的な観点から執行部へ提言するため、「戸田市地域防災計画及び防災マニュアル策定に係る提案書」「防災のまちづくりについての提言書」を取りまとめました。

【戸田市地域防災計画及び防災マニュアル策定に係る提案書】
提案書では、戸田市地域防災計画の改訂に伴い、15項目、合計53件の提案を行いました。主な内容は、次のとおりです。
①災害情報伝達、情報連絡通信網の整備として、災害メール登録強化やコミュニティFM設立等の検討を行うこと。
②災害時要援護者対策として、要援護者数の割り出しや救助方法の対策等を行うこと。
③防災組織整備として、危機管理監の設置、災害時における議会と災害対策本部の関わり等の検討を行うこと。
④防災教育、防災訓練として、防災マニュアルのチェックリスト化や学校と協力した訓練の実施等を行うこと。



【防災のまちづくりについての提言書】
提言書では、提案書で網羅できなかった、あるいは、特に検討してほしい施策を提言しました。主な内容は、次のとおりです。
①コミュニティFMの設立を目指すこと。
コミュニティFMは、震災時はもちろんのこと、平時にも有用性があるので、設立を検討すること。その際は、民間による設立や運営を目指し、自治体はそのサポートを行う等、FM局の運用手法も検討すること。
②住宅の耐震診断・設



▲尼崎市役所にて

文教・建設委員会

空き家対策に取り組むよう条例の制定に向けて提言

「電子図書館の導入について」と「空き家・空き地の適正管理について」の2つを年間活動テーマとし、調査・研究を進めてきました。

最大の課題であるコンテンツ不足を打開するため、利用者がどういうコンテンツを求めているのか、出版社側へ積極的に提示していくことを求めています。

②利用環境の拡大
セキュリティ面を第一に考え、利用できる環境が拡大するよう積極的な働きかけに努めることを求めています。

③他方面の分野への対応
教育面では、教育現場での活用を検討すること、防災面では、防災に関する情報等の公開を検討すること、また、福祉面では、アクセシビリティに配慮することを求めています。

④地域資料の電子化
電子化への取り組みを推進するとともに、電子図書館を導入する際には、電子化した地域資料の公開を検討することを求めています。

都足立区を視察しました。これらの視察を踏まえ協議した結果、空き地については、「戸田市空き地の環境保全に関する条例」により、引き続き管理・指導を行うとの結論に至りましたが、空き家については、早急に空き家対策に取り組む必要があることから、「空き家条例制定に向けての提言書」を作成し、執行部へ提出しました。



▲宇治市役所議場にて

この提言書は、条例に盛り込むべき項目を提言しています。概要は次のとおりです。

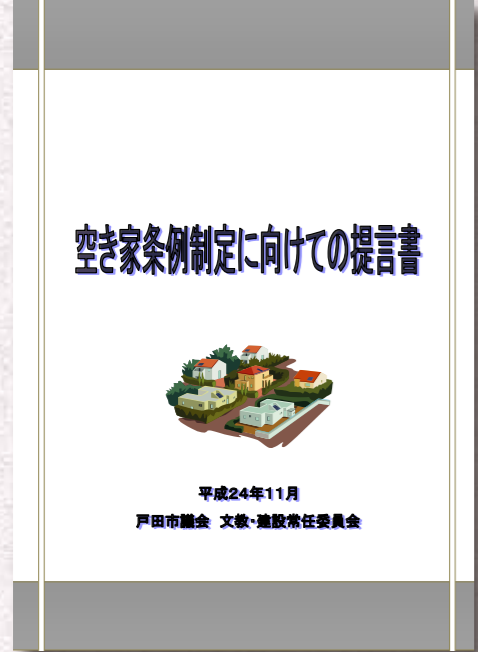
①基本方針
「所有者の責務」「情報提供の呼びかけ」「実態調査」「助言、指導、勧告及び命令」「公表」「警察署等への協力要請」の6項目を明記することを求めています。

②解体費用に係る補助金
経済的事情により、解体ができない空き家の所有者を考慮し、第三者委員会の審査により認められた所有者に対しては、解体費用に係る補助金を支給することを求めています。

③行政代執行
所有者の公表まで行い、是正がされない場合には、行政代執行法の規定に基づき、行政代執行を行うことを求めています。

この提言書は、4つの観点から成り立っています。概要は次のとおりです。

①コンテンツの充実



※アクセシビリティ：高齢者や障害者を初めとする、誰もが利用しやすい環境

健康福祉委員会

市民医療センターにおける 経営の効率化とより良い サービスの提供に向けて

市民医療センターでは、今年度から「経営改革プラン」に基づき、持続可能な経営と必要な医療提供体制の確保に取り組むとともに、診療施設の建て替え等を行っています。そこで、本委員会は、約1年間かけて、市民医療センターについて調査・研究を行いました。

その結果を「市民医療センターにおける経営の効率化とより良いサービスの提供に向けての提言書」として取りまとめました。

この提言書を踏まえ、市民の負担軽減と利便性の向上に向けて、市民と一体となって、効率的で質の高い患者本位の医療の提供に取り組むことを執行部に要望しました。なお、提言書の概要は、次のとおりです。



- 【1. ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用促進について】
- (1) 広報やホームページにジェネリック医薬品に関する記事を掲載し、普及啓発を図ること。
 - (2) 医師会等と協議の上、国民健康保険においてジェネリック医薬品使用による差額通知サービスを導入すること。
 - (3) 患者負担の一層の軽減に向けて、さらにジェネリック医薬品の利用促進に取り組むこと。
 - (4) データベース化した診療情報を分析し、その結果をもとに、健康な生活を増進するよう、市民に働きかけていくこと。

- 【2. 電子カルテの早期導入と「地域共通診療券」の普及について】
- (1) 個人情報の保護に配慮の上、できる限り早期に電子カルテの導入を図ること。
 - (2) 市民が身近で適切な医療サービスを受けられるよう、次の3つの事項に主体的に取り組むこと。

- 【3. 事業継続計画（BCP）の策定について】
- (1) 東日本大震災の教訓を踏まえ、緊急時でも施設
 - (2) 医療提供施設としての機能を保持するため、施設整備に当たって、ベッドや家具の移動・転倒が起らないように地震対策を徹底すること。



▲市民医療センター・福祉部へ提言書提出

市民生活委員会

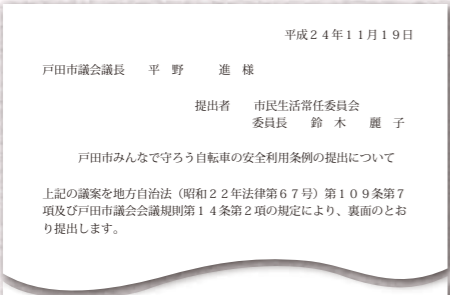
戸田市みんなで守ろう 自転車の安全利用条例を制定

当委員会は、年間活動テーマを「安心・安全のまちづくりに向けた自転車条例について」と定め、条例の制定に向けて活発な委員会活動を行ってまいりました。

【制定までの過程】

2月に年間活動テーマを決定して以降、頻繁に委員会を開催し、協議を重ねてきました。

4月、7月には行政視察を実施し、先進事例を確認しました。特に、4月に視察した京都市では、7カ月ほどの短期間で、京都市自転車安心安全条例を、議員提出議案として制定しており、条例制定までの工程に関し、具体的なイメージを持つことができました。また、幅広い意見を聴くため、8月1日発行の



戸田市みんなで守ろう自転車の安全利用条例
自転車は、健康増進に役立ち、地球環境にやさしい、手軽で身近な交通手段である。また、戸田市は、平たんな地形であることから、自転車走行に適したまちであり、自転車を利用する市民が増えている。
一方、近年の交通事故は、自転車と歩行者、あるいは自転車同士との事故の増加が顕著である。子供を始めとする若年者が多く、また急速な高齢化を迎える本市にとって、自転車施策の充実が重要な課題であり、早急な対応が必要である。
よって、ここに歩行者、自転車、自動車等の共存と調和を図り、日本一安全に楽しく自転車が利用できる「自転車の似合うまち」の実現を目指し、この条例を定める。
(目的)
第1条 この条例は、自転車の安全な利用に関し、市、市民、自転車利用者等（以下「自転車利用者」という。）、事業者、関係団体等の責務を明らかにするとともに、自転車の安全な利用の促進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、自転車及び自動

議会だよりにて、自転車の安全利用に関する意見募集を行い、3名の方から意見をいただいたほか、同じく8月に、藤戸田自転車商組合戸田支部の方々と意見交換を行いました。

さらに、10月1日から議会パブリック・コメントを実施するとともに、これを広く周知するため、市内3駅でPR用の

【条例の特徴】

条例は、前文、本則15条及び附則から構成されています。

本条例の特徴として、まず第5条自転車利用者の責務が挙げられます。ここでは、自転車は車道通行を原則とすることな

ど、8つの遵守事項を規定しています。これらの遵守事項は道路交通法等の規定と重複しますが、これらのルールを知らない自転車利用者が多いことから、本条例を見て、基本的なルールを理解してもらえよう、あえて規定しています。

第9条保護者の責務では、子供が多いという本市の地域性を踏まえ、子供に自転車を安全に利用してもらうために、最も身近な大人である保護者が自転車利用の模範を示すよう規定しております。

第10条自動車等利用者の責務では、自動車や原動機付自転車に対し、自転車の車道走行に配慮するよう規定しています。これは、自転車を追い越す際に、十分な距離を確保するなどの配慮をすることで、自転車の車道走行を促すものです。

第11条自転車交通安全教育では、第9条に関連し、幼児の保護者を対象に、その特性に応じた自転車交通安全教育を実施



▲議会パブリック・コメントのPR活動（戸田駅）

することなどを規定しています。

附則では、条例に基づく施策の実効性を担保するため、条例施行後5年を目途に、条例の施行状況を検証することを規定しています。

条例の全文は、議会ホームページにて、ご覧いただけます。

ご協力ありがとうございました。

市民生活常任委員会

自転車の安全利用に関する意見募集を行い、意見をいただいた3名の方、意見交換を行った藤戸田自転車商組合戸田支部の方々、パブリック・コメントに意見をいただいた4名・1団体の方をはじめ、条例制定に当たり、ご協力いただきました皆様、に、厚く御礼申し上げます。

委員会メンバー

	委員長	副委員長	委員			
総務	遠藤英樹	岡崎郁子	平野 進	神谷雄三	石井民雄	秋元良夫
文教・建設	馬場栄一郎	手塚静枝	榎本守明	細井幸雄	望月久晴	伊東秀浩
健康福祉	召田 厚	富岡節子	花井伸子	熊木照明	中名生隆	山崎雅俊
市民生活	鈴木麗子	本田 哲	酒井郁郎	三浦芳一	斎藤直子	栗原隆司



▲荒川桜つつみ

公園、さくら川と、花の名所が多くあり、花のまち戸田の取り組みは全国でも名の知れたまちとなった。埼京線

観光行政

花と水辺で戸田市を観光地にしては

「協働による各種事業に取り組む」



議員 本市は春になると荒川桜つつみ、戸田公園、さくら川と、花の名所が多くあり、花のまち戸田の取り組みは全国でも名の知れたまちとなった。埼京線

富岡節子議員

戸田公園駅から競艇場の先までを花の道として、荒川土手からの景観と合わせ、首都高の出口、埼京線と、地の利を生かし人々が集う観光地にしてはどうか。

都市整備部長 まち全体が明るく住みよくなるのは大変喜ばしいと感じるが、堤防は厳しく規制があり、本堤防の機能を損なわない工夫が必要で、各施設や区域が本市管理外であるため、要望として伝えていく。

乳幼児用図書室を

議員 乳幼児期から本に親しむことは大切で、親子の信頼関係を構築す

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、12月4日から7日まで、4日間にかけて、18人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲12月24日、約40年にわたって利用されてきたこどもの国が閉館しました。新しく生まれ変わる施設の完成を平成27年春が来るまで待ちましょう。



そこがききたい

サッカー場

惣右衛門公園の施設の改修整備を

「状況を考慮し、協議・検討する」



議員 惣右衛門公園サッカー場管理棟は昭和55年の新築であるが、今、日本のサッカーは男女を問わず、またフットサルに至っては男女混合チームもある中、現在のニーズに対応しておらず、老化も進んでおり、男女を問わずプライバシーの保てる施設に改修できないか。

を要望するとともに、人工芝に改修されたグラウンドであるが、芝が寝ており、芝を立てるメンテナンスをしっかりお願いをしたい。

議員 芝を立てるブラッシングは年に1回行っている。

議員 三、四カ月に一度はお願いをしたい。また、彩湖・道満サッカー場の整備もきっかけをお願いをしたい。

議員 荒川土手下・笹

交通安全対策について

議員



▲惣右衛門公園サッカー場(世目)



議員 下戸田交番と統合され、中町多目的広場に移転予定の喜沢交番跡地は、今後どのように活用されるのか。

議員 防犯掲示板では犯罪抑止効果に不安が残る。繁華街も近い喜沢地区の安全・安心を守るためにも、交番跡地に安全パトロールステーションは設置できないか。

議員 敷地面積が狭く防犯施設としての利用は困難である。

議員 下戸田交番跡地に移設予定の安全パト

議員 現在、住宅展示場として貸し出している先行取得用地を防災公園とし、それを經由して駅からポトコースまで、防災機能を持たせたデッキをつなぐ利用は考えられないか。

議員 現在、住宅展示場として貸し出している先行取得用地を防災公園とし、それを經由して駅からポトコースまで、防災機能を持たせたデッキをつなぐ利用は考えられないか。

山崎雅俊議員

統合移転後どのように活用されるのか

「犯罪抑制に効果的な利用を検討中」

喜沢交番跡地



▲統合移設予定の喜沢交番

議員 先行取得用地は、まちづくり用地であり、防災公園やデッキの設置については、提案として承る。

その他の質問
A. いじめの認識が、学校と本人にずれがあるようだが、中学生徒会なども積極的にいじめ問題に取り組み、学校全体で根絶を目指すしている。

一般質問



一般質問

本田 哲 議員

税の延滞金の減免制度、早期創設を

「平成26年度から運用する」



議員 2
012年
9月定例
議会で、

金の減免制度の創設を求めた。答弁は、「平成25年度末か26年度から実施したい」であったが、平成25年度当初からの早期実施をすべきではないか。

徴収事務

財務部長 平成26年度からの運用を目的に規

定を整備している。交通指導員の増員については柔軟な対応を



◀新たに交通指導員が配置された本町5丁目交差点

た交通指導員の配置を検討していく。

議員 AEDが各町会会館に設置されるのが望ましいと考えるが、対応はできるか。また、AED設置場所の拡大と市民への情報提供を

議員 現在、福祉保健センターHP上の「埼玉県AED設置情報提供システム」で、設置状況が確認できる。今後、もっとわかりやすく周知していく。

学路の安全確保を進めるとともに、さらなる交通安全の確保に向け

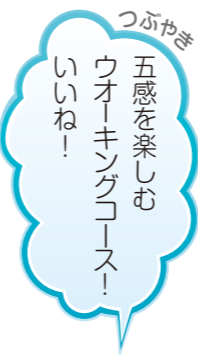
議員 AEDが各町会会館に設置されるのが望ましいと考えるが、対応はできるか。また、AED設置場所の拡大と市民への情報提供を

議員 現在、福祉保健センターHP上の「埼玉県AED設置情報提供システム」で、設置状況が確認できる。今後、もっとわかりやすく周知していく。

環境空間

「華かいどう21」整備計画の周知を

「63%完成。わかりやすく広報する」



議員 環境空間整備計画「華かいどう21」は、第4次総合振興計

議員 環境空間整備計画「華かいどう21」は、第4次総合振興計

に整備の必要性が示されているが、意外に住民に浸透していない。



▶環境空間のまちなか菜園「ソラドファーム」

現在、整備がどの程度進み、今後、どのような計画か。また、10年経過し、再度、住民に周知すべきではないか。

議員 JR東日本の有効活用箇所は、店舗8件、保育園6件、駐車場5件、菜園2件、学習塾1件の40・8%と、市の本整備6カ所の9・5%、緑地・緑道の暫定整備20カ所13%の、合計63・3%。残

議員 JRグループ理念に「沿線価値の向上」などを挙げている。シティセールス戦略としても早期完成を要望。

召田 厚 議員

におわない町となるよう、早期整備を

「できる限り早く進めている」



議員 新曽地区を中心とした下水道整備につ

下水道整備

議員 新曽地区を中心とした下水道整備については、道路の整備に合わせと言っていた下水道の布設が第一歩を踏み出すことができたことは評価する一方、戸田駅西側の都市整備

議員 下水道整備を進めていくに当たり、町会単位で周知できない



▶下水道管を埋設する工事

議員 スポーツセンターのプール、陸上トラック、北部公園野球場は、規格が合わず、全国大会が行えない状況

議員 市庁舎改修に伴う駐車場のゲート設置は、考えていない。

市民ファンド

市民の力と資金で 市民活動を活性化せよ

「NPO基金も視野に入れ研究する」

遠藤 英樹 議員

議員 市民活動団体やNPO法人などのために設立するNPO基金も視野に入れ、将来的には市民が直接運営する市民ファンドの設立も促していきたい。

議員 現在、市で把握している護岸整備の計画は②笹目川のまこと再生プロジェクトの進捗状況は③上戸田川、さくら川について、今後の護岸整備の計画は④河川の水質浄化についての今後の取り組みは。

議員 まちと調和した護岸の遊歩道整備等を積極的に進めてほしい。

議員 JRグループ理念に「沿線価値の向上」などを挙げている。シティセールス戦略としても早期完成を要望。

議員 「新しい公共」と呼ばれる役割を担おうとする市民エネルギーを効果的に活用するには、

議員 資金援助についての新しい仕組みが必要と考える。市民ファンドの設立と支援を進めてほしいが、どう考えるか

議員 人の心を癒すと同時に、人に猛威を振るうこともある河川について①国管理の荒川

議員 現在、市で把握している護岸整備の計画は②笹目川のまこと再生プロジェクトの進捗状況は③上戸田川、さくら川について、今後の護岸整備の計画は④河川の水質浄化についての今後の取り組みは。

議員 まちと調和した護岸の遊歩道整備等を積極的に進めてほしい。

議員 JRグループ理念に「沿線価値の向上」などを挙げている。シティセールス戦略としても早期完成を要望。

▶戸田市民体育祭(美女木小学校)



議員 市 民体育祭は、長年にわたり恒例行事として開催されている。競技運営は、町会単位で行われているため、町会

市民体育祭

町会未加入者が参加しやすいように
「実行委員会に提案していく」



議員 市 民体育祭は、長年にわたり恒例行事として開催されている。競技運営は、町会単位で行われているため、町会

馬場栄一郎議員

に属していない人は参加しにくい状況である。町会未加入者への対応は。

市民生活部長

体育祭は地域コミュニティの醸成に大きな役割を担っている。参加をきっかけに町会への加入を考へる場合もある。町会には、コミュニティ活動の参加啓発事業と捉え、ご協力いただく。

議員

町会未加入者の受付・控えテント設置や一般参加者枠を設けるなどの工夫で、多くの方の参加を促し、町会加入への促進も図れるのではないかと。

市民生活部長

大規模マンションは、入居が



議員 24年度、校務員の委託業者が代わり、

労働条件の改善を

望月久晴 議員

「業者選定法を改善する」

給与が月額で約8千円減額され、10万円あった夏・冬のボーナスもなくなった。委託業者が代わっても労働条件の切り下げがないようにすべきでは。

議員 競争入札により、それまでとは別

の業者が落札した。今後は業者の選定方法を検討してまいりたい。

2学期制の見直しを

議員 2学期制が全面実施されて4年が経過するが、保護者から、夏休み・冬休みの前に通知表がもらえないので、みずから目標を持って長期休暇を過ごせないとの意見がある。2学期制を見直しでは。

議員

2学期制により授業時数の確保ができ、一定の成果を得ている。各小学校で定着しており、見直しは考えていない。

トコバスの改善を

議員 喜沢循環・川岸循環を見直し、双方方向運行にできないか。

議員

経費が



▶トコバス(川岸循環)

かかるので、できない。

議員

年末年始は運休しているが、運行できないか。

議員

当面、喜沢循環を市役所経由に。

議員

町会からも要望が出ているので、研究を始めたところである。

議員

町会からも要望が出ているので、研究を始めたところである。

一般質問

住民参加

新曾地域のまちづくりは住民合意で

花井伸子 議員

「意見を聞き、進める」



議員 新曾第二土地区画整理事業における用

途地帯の変更(案)について地権者から、換地決定時点での説明と相違があり、納得できないとの意見がある。しっかりと答えるべき。

議員

新曾中央地域のまちづくりについては、平成16年より、段階と手順を踏みながら進めてきたが、地域住民全体への周知と理解という点では、説明会等への参加状況、また、住民からの意見等も出ており、地権者と十分に合意が得られるよう慎重に進めるべき。

議員

意見があるところへは、担当が出向き、納得いく解決を図るよう強く要望する。

議員

「医療費が払えない」という相談が増えている。国民健康保険法に規定された一部負担の減免をしっかりと施行し、対応すべき。

議員

「医療費が払えない」という相談が増えている。国民健康保険法に規定された一部負担の減免をしっかりと施行し、対応すべき。



▲新曾中央西地区における戸田都市計画の変更(原案)の説明公聴会



議員 隅切りの必要性を説き、幅員4mの生活道路全体に3mの隅切りを求める一方で、

墓地は交渉の結果1.5mで相手の了解を得たとは、非論理的かつ不公平である。

議員

「建築物の高さは最高20m。ただし既存不適格建築物は適用しない」、つまり20m超の現存する建築物については不問とのことだが、その後の改築はどうなるか。

細井幸雄 議員

地区計画はなぜ西地区先行か

「密集市街地化防止等の理由から」

議員

既存不適格建築物は、建て替える際には新たな規制に従った建築物を建築するというのが一般的な常識であり、ぜひ、そのように進めていただきたい。

実施時期	実施回数	会場	地権者への通知数(通)	合計出席者数	出席率
22年8月~9月	4回	4町会会館	2138	89名	3.9%
23年7月	3回	新曾福祉センター	2213	59名	2.6%
23年12月	4回	4町会会館	3892	79名	2.0%

※3については対象者を地権者、居住者とした。

▲まちづくり協定説明会の通知及び出席状況



一般質問

岡寄 郁子 議員

0・1・2歳児の緊急対策を

「認可保育園の開設を中心に対処」



議員 現在の待機児童数と来年度の見込みは、

保育園不足

こども青少年部長 認可保育園を希望しながら保留となっているのは、11月現在で363名。来年度の入所可能児童数は559名、入所申し込みは682名で、来年度は今年度より減少と見込んでいる。

議員 不足している地域や年齢を中心にした緊急対策が必要ではないか。①9月議会ですべての地域と答弁があった喜沢や新曽南に加え、笹目、美女木、北戸田駅近辺の対策は②待機が多い低年齢児の緊急対策へ、家庭保育室の保育料助成増額や、不足地域への誘致を。



平成24年4月に開園した「太陽の子」下戸田保育園

で過ごせる認可保育園の開設を基本に対応したい。①笹目・美女木・

北戸田近辺も不足地域と認識しているが、工業系用途地域が多く、場所の問題で決まっていない②保育料助成は現行のままでもいい。家庭保育室は数カ所の新設希望がある。

議員 ①仕事をしている人も利用できるように、空間放射線量測定器の土日貸し出しを②

議員 待機順に関する説明を丁寧にし、過度の期待や不安を持たぬよう配慮願いたい。

スポーツ振興

出産前後やシニアの方に運動の機会を

「検討したい」

酒井 郁郎 議員

つぶやき 出産する方の実感に合った支援を！

議員 ①出産前後のスイミングやヨガなどの運動プログラムを提供



してはどうか。出産を軽くし、産後の回復を早める効果が指摘されている②定年世代に対して



▶マタニティストレッチ (提供：一般社団法人日本マタニティフィットネス協会)

象としたスポーツの活性化を図ってはどうか。ウォーキングやゲートチームを育成してはどうか。

福祉部長 ①市ではマタニティ教室で妊婦体操を実施していく。

市民生活部長 ②検討したい。

特養の待機順について

その他の質問

Q. 戦略的な新産業の育成を。特にITを利用した小規模製造業や福祉・子育てなど生活産業に可能性がある。 A. 積極的に研究していきたい。

中名生 隆 議員

EM除染対策とセシウム0の野菜類を市民に

「EM生ごみ堆肥で循環型社会推進」



議員 国会で内部被曝の専門家、チエルノ

ブイリと福島原発事故は同様で、これから内部被曝問題が起きてくる。今すぐ子供と妊婦を守るため、食品の正確な測定器配備と除染をすべきと怒りをあらわした。ベラルーシ共和国は放射能汚染研究の先進国であり、EM

研究機構と共同研究の結果、EMにより放射性物質の農作物への移行が抑制されることを発見した。蔵戸田衛生センターで測定した結果、EM生ごみ堆肥はセシウム不検出の結果が出ている。内部被曝は、セシウム等が食物から人体に入り放射線が細胞を破壊する問題で、26年後のウクライナやベラルーシ国の多くの人が放射能で被曝

二世までも苦しんでいる。戸田市として、内部被曝問題の検証や対策を検討すべきである。 総務部長 国や県や関係機関の動向を注視し、内部被曝問題の検証や対策を検討していく。

議員 戸田市の幼稚園や学校などの家庭にもEMを散布して、内部被曝の低減化対策を図るべきである。

議員 待機順に関する説明を丁寧にし、過度の期待や不安を持たぬよう配慮願いたい。



▶ベラルーシで開催された国際会議の様子 (EM生活ホームページより)

託児付き講座

保育支援で子育て世代の社会活動を推進せよ

「男女参画の視点で支援方法を検討」

鈴木 麗子 議員

つぶやき 一時保育は、子育てのセーフティネットです

議員 地域で子育てする専門主婦は、高齢化する地域社会における



潜在的人材と考える。男女共同参画の視点から、バウチャー方式による託児利用支援や託

児付き講座の拡充等、託児機能の充実を図り、子育て世代の社会活動への参加を推進してはどうか。

市民生活部長 育児中の女性も地域の人材としての発掘や能力の生かし方等重要な視点であると考え。今後の新施設における託児機能や保育支援のあり方も検討課題とする。託

児付き講座の拡充は関係各課に要請していく。



▶「さんかく岡山」託児室 (提供：岡山市男女共同参画社会推進センター)

一時保育の空き状況を提供し利用向上を図れ

議員 一時保育は、緊急時、保護者にかわって子どもの保育を保障する受け皿であるが、パート雇用利用者との競合で、緊急時の利用も難しい状況であるが、事前に緊急保育枠、育成保育枠はできないか。また保育所の一時保育空き状況の情報提供を行い、利用者の便宜を図ってはどうか。

こども青少年部長 保育所の通常保育が利用できず、一時保育の利用で就労する家庭もあり、待機児童の現状からも緊急枠等を設けるのは難しいが、一時保育の空き状況の広報は公立から行い、私立とも協議する。また育成保育は緊急の場合のみ保護者と事前協議を行い、受け入れ可能としている。

議員 生活保護扶助費は増大し、市負担分をどう抑えていくかを考えるとき、市民税非課税の所得制限、市内在

都市整備部長 用地確保や財政面から難しい。要配慮者の現状と課題を整理、検討を行っている。

の対策をとるよう求められている。市営住宅の空き室募集では最高100倍の例もある。要配慮者を市営住宅で賄うには難しいと考えるが、どうか。



議員 法律で「住宅確保要配慮者」に何らか

住宅要配慮者

市営住宅で吸収するのは難しい。家賃補助を「条件面を含め、引き続き検討」

神谷雄三議員

住歴10年などの条件を設け、高齢者単身及び夫婦世帯に、市独自の家賃補助制度を設けるときではないか。

福祉部長 経済的に弱い立場の高齢者世帯の方々が、生活保護制度に頼らずに、住み慣れた地域で暮らせる住宅施策の構築が求められている。所得制

住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律
(目的)
第一条 この法律は、住生活基本法(平成十八年法律第六十一号)の基本理念にのっとり、低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者(以下「住宅確保要配慮者」といふ)に対する賃貸住宅の供給の促進に關し、基本方針の策定その他の住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する施策の基本となる事項等(以下「基本事項」といふ)を定めることにより、に対する賃貸住宅の供給の促進を、住生活基本法に規定する方向と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

住宅確保要配慮者法



2月6日(水)・7日(木)に、市議会議員一般選挙後、初めての議会が開かれ、正副議長、常任委員会の各委員等、役職を選任します。

議長選挙では、**所信表明会**を行います。

- ? 目的は 開かれた議会と活力ある議会運営
- ? 立候補の条件は 2人以上の議員の推薦
- ? 場所は 議場で行います
- ? どういう方法で 演壇から発言 制限時間一人10分
- ? 進行者は 年長の議員が進行
- ? 傍聴は もちろん傍聴できます。インターネット中継・録画放映も行います。
- ? 投票は その後、公式な議会を開会し議長選挙となります。

議会モニター決まる

2回目の募集となった議会モニターについて、書類選考の結果、5人の方にモニターになっていただくことに決定いたしました。

- ◇任期……平成25年1月1日～12月31日
- ◇職務……①本会議、委員会を傍聴して、運営に関する意見書の提出。②議会だより、ホームページに関する意見書の提出。③議員との意見交換。④議長が依頼した議会運営に関する調査事項の回答など。



▲委嘱状交付後、正副議長を囲んで(本会議場)



議員 地域防災計画が役に立つ見直しになったと思うが、明確な減災目標を立てよ。

地域防災計画で 明確な目標の設定を 「被害の予防・軽減に努める」

減災対策



▲平成24年10月に全面改訂した戸田市地域防災計画

議員 自助・共助の推進と官民の役割分担の明確化を図れ。
総務部長 防災・減災の意識啓発を継続して実施していく。

市民生活部長 現状は難しいが、何らかの対策を考えていく。

議員 地域住民の声を大事にせよ。

トコバス「川岸会館前」道路に横断歩道を

市民生活部長 地域住民の声を確認して検討する。

議員 防犯カメラの設置など対策を打て。

喜沢交番跡地に防犯カメラの設置を

総務部長 推進したい。

議員 要援護者名簿共有化の推進と、パンダナの無償提供を。

ろっあ者・手話通訳者にパンダナの提供を

一般質問

自助・共助

防災隣組の訓練に「防災運動会」の実施を
「自主防災会や実行委員会に提案」

手塚静枝議員



議員 ①災害予防計画が改正され、避難所運営のマニュアルで改正された点は何か②避難所運営訓練に図上訓練を積極的に用いては③共助の意識を高める「防災隣組」の訓練として、「防災運動会」を市民体育祭の中に取り入れてはどうか。



▶避難所運営ゲームHUG(ハグ)

する③自主防災会や実行委員会に提案する。

福祉部長 法令に基づき高齢者に費用の一部を助成しているが、その他の方は任意のため自己負担となっている。国の動向を見ている。

交差点の安全対策を

議員 ①美女木7丁目ヤマダ電機付近交差点②氷川町2丁目新曾水川神社付近交差点③笹目南町まきば幼稚園付近交差点の歩行者、自転車等の安全確保のための方策は。

市民生活部長 ①②③の交差点については、今後も十分な安全対策を図っていく。

議会日誌

10月

- ◎ 1日 県南都市問題協議会正副会長会議
- ◎ 2日 戸田競艇組合議会／大阪府八尾市議会視察来庁
- ◎ 5日 蕨戸田衛生センター組合議会視察
- ◎ 8日 議会モニターとの意見交換会
- ◎ 9日 戸田競艇組合議会常任委員会
- ◎ 10日 宮崎県小林市議会視察来庁
- ◎ 10日～12日 第74回全国都市問題協議会
- ◎ 15日 議会広報委員会／総務委員会
- ◎ 17日 議会改革特別委員会
- ◎ 18日 福井県坂井市議会視察来庁
- ◎ 19日 県議長会役員会
- ◎ 23日 議会広報委員会／大阪府河内長野市議会視察来庁
健康福祉委員会／市民生活委員会
- ◎ 24日 文教・建設委員会／愛知県刈谷市議会視察来庁
静岡県三島市議会視察来庁
- ◎ 26日 大阪府四條畷市議会視察来庁
- ◎ 29日 県南都市問題協議会研修会／総務委員会
- ◎ 30日 議会運営委員会
蕨戸田衛生センター組合議会運営委員会

11月

- ◎ 2日 健康福祉委員会
- ◎ 5日 埼玉県伊奈町議会視察来庁
- ◎ 6日 山形県東根市議会視察来庁
- ◎ 8日 議会改革特別委員会
- ◎ 9日 総務委員会／千葉県八街市議会視察来庁
- ◎ 12日 県南都市問題協議会都市計画・交通問題研究部会視察
- ◎ 13日 蕨戸田衛生センター組合議会
県南都市問題協議会地方分権研究部会講演会
- ◎ 14日 市民生活委員会／愛知県安城市議会視察来庁
福岡県行橋市議会視察来庁
- ◎ 15日 文教・建設委員会
- ◎ 15日～16日 一区議長会行政視察
- ◎ 19日 蕨戸田衛生センター組合議会／
戸田競艇組合議会周辺対策特別委員会
- ◎ 20日 議会運営委員会／全員協議会／常任委員会(総務、
文教・建設、健康福祉、市民生活)
- ◎ 21日 戸田競艇組合議会運営委員会
- ◎ 26日 戸田競艇組合議会
千葉県印西市・鎌ヶ谷市議会視察来庁
- ◎ 27日 本会議(議案説明)／議会運営委員会
議員互助会役員会
- ◎ 29日 石川県かほく市議会視察来庁

12月

- ◎ 3日 本会議(議案質疑)／議会広報委員会
- ◎ 4日～7日 本会議(一般質問)
- ◎ 5日 議員互助会役員会
- ◎ 7日 議会運営委員会
- ◎ 10日 常任委員会(総務、文教・建設、健康福祉、
市民生活)
- ◎ 11日 特別委員会(交通対策、議会改革)
議会運営委員会
- ◎ 17日 本会議(委員長報告、討論、採決)
議会運営委員会

(掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで)
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しております。

「リサイクルプラウワーセンターについても視察が増えています。」

題字を書ってくれた人

とだ



濁点の位置に気をつけて書きました。力強い字が書けたと思います。

新曽北小学校 6年 藤本武稔さん

【訂正とお詫び】

前号の9月定例会号の最終ページ「題字を書ってくれた人」の名前について、「古山菜々子さん」とすべきところを「古山奈々子さん」と掲載してしまいました。古山菜々子さん初め関係の方々にご迷惑をおかけいたしました。訂正してお詫びいたします。

また、同じく9月定例会号の4ページ、平成23年度決算の一般会計歳出額について、前年度比「0.3%減」とすべきところを「0.3%増」と掲載してしまいました。あわせて訂正し、お詫びいたします。

2・3月

次回、議会の予定

2月6日	本会議	臨時会開会、正副議長選挙、各種委員の選任
7日	本会議	各種選挙、閉会
21日	本会議	定例会開会、議案等上程、施政方針、議案説明
22日	本会議	(続) 議案説明
3月1日	本会議	総括質問
4日	本会議	質疑、請願の提出、委員会付託
5日	本会議	一般質問
6日	本会議	
7日	本会議	
8日	本会議	
13日	委員会	常任委員会
14日	委員会	特別委員会
21日	本会議	委員長報告並びに質疑、討論・採決、閉会

※日程は変更になる場合があります。議会事務局にお問い合わせください。
議会事務局 ☎048・441・1800(内線523・524・543)

最 近、歳を聞かれることも少なくなってきた。急に間かなくても、咄嗟に答えられなくなってきた。今年で51になる。49から50になったときより、50から51になる方が、歳を感じる。世間で50って、まだ若い方なの？ まだまだがんばるぞ！ (あ)

蕨 戸田衛生センターではEM生ごみ堆肥のセシウム濃度測定結果として、3回測定して1kg当たり全部不検出となっている。EM生ごみ堆肥が美里町の農地で使用され、セシウム・ゼロの米や野菜になり、戸田市の学校給食で使用されるのは、安全で、ありがたいですね。(ト)

こ の議会だよりが皆さんのお手元に届くころ、市議会議員選挙が終わり、新しい議員が誕生している。この原稿を書いている時点で当落は「神のみぞ知る」だが、勇退される4名の議員は、のんびりと優雅な正月を過ごしたかと思う。うらやましい！ (一)

富 土山の見える風景があるだけに、とつても幸せな気分になるのは不思議です。自慢できるまちの要因です！今年も、戸田市にある日本一を探し、また、日本一をめざすまちの応援団のひとりとして頑張るぞ！ (直)

ほつとふん 2月4日は立春。もうすぐ春です。ねえ、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。